

令和2年度第1回 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設
のぞみの園運営懇談会議事要旨

令和2年10月9日（金）
13：30～15：30
文化センター

I 開 会
II 理事長あいさつ
III 議 事

1. 入所利用者の状況について
2. 独立行政法人の評価について
3. 厚生労働省調査研究事業の概要について
4. のぞみの園における業務の取組状況について
 - (1) 著しい行動障害を有する者への支援
 - (2) 矯正施設を退所した知的障害者への支援
 - (3) 附帯業務の見直し
 - (4) 業務運営の効率化

IV 報告事項等

5. 令和2年度 調査・研究のテーマについて
6. 国立施設との連携について
7. 令和2年度 福祉セミナー・研修会の予定について
8. コロナウイルス感染症への対応について
9. 事故等の報告について

【議事に対する主な質疑（○：委員、●のぞみの園）】

- 矯正施設を退所した障害者の中で複雑な課題を抱える者への支援ということで複雑な課題の内容。高度なスキルとして求められているもの。また受け入れを増やす上で職員のスキルアップ・課題は何か。
- 複雑な課題は、愛着を基本とする課題を抱える方への支援や性への課題を抱えた方の支援です。これらの課題を抱える方は、本人が思っていることと行動が、かなり異なっている場合があります、その対応として、その方の生育歴や背景を理解することがまず大事と考えています。そして、その行動の原因となるものが、精神・発達障害に基づくものなのか、または生育の中で培われたものなのかを見極めていくことが必要になります。
- また、性への課題を抱えた方には、課題に対する直接的なアプローチではなく、最初はコミュニケーションのあり方を学ぶところから始めています。具体的には集団心理教育プログラムという手法を用いて、挨拶の仕方だとか感謝を述べることなどを取り入れながら日常的に生活を含めて対応していきたいということで勉強しています。